

4. 観光振興の効果検証を行うための成果指標設定とデータ収集分析手法の提案

4.1 市レベルでの検証可能な成果指標の検討

名護市において導入が想定される成果指標を以下に示す。

指標の策定においては、自然環境や生活環境を両立した上で、“やんばるの観光拠点”を実現するために、「①来訪者による滞在による経済効果の把握に資する指標」、「②地域の持続可能な受入の状況の把握に資する指標」、「③受入事業者の持続性や経済効果の把握に資する指標」、「④情報発信やブランド形成に資する指標」の4つの観点から検討・整理を行った。

次年度、施策の検討を進めつつ実際にモニタリングに使用する成果指標を確定させる必要がある。なお、市内の観光関連事業者からは、観光客の受入増加に伴い、人手不足の指摘されている状況にあり、持続的な観光地域を形成する意味から、実態の把握とモニタリング体制の構築について、今後検討を行う必要がある。

図表104 成果指標の案

観点	指標	指標の説明
来訪者 (国内・海外)	入込客数(人)	観光客の来訪数
	宿泊客数(人)	観光客の宿泊数
	平均滞在時間(分)	観光客の地域への滞在時間
	立寄地点(箇所)	市域内での立ち寄り箇所数
	観光消費(円)	市域内での観光消費額
	満足度(ポイント)	観光体験の満足度の把握
	リピーター率(%)	リピート状況の把握
地域	市民の満足度(ポイント)	市民の観光に対する満足度
	市民の理解度(ポイント)	市民の観光に対する理解度
受入事業者	担い手の満足度(ポイント)	観光事業者による観光施策の満足度
	客室単価(円/室)	宿泊施設の平均客室単価
	宿泊稼働率(%)	宿泊施設の稼働状況
	域内調達率(%)	宿泊施設における域内調達率
広報PR、 ブランド形成	ホームページ閲覧(PV)	観光ポータルサイト等の閲覧数
	SNSのフォロワー数(人)	観光アカウントのフォロワー数
	認知度(ポイント)	名護市に対する認知度
	イベント参加者(人)	イベントへの参加者数

4.2 収集方法の検討

各データの収集分析方法については以下に示す。

なお、宿泊施設を対象として指標の収集にあたっては、地域の観光振興施策のモニタリングのための有用な指標を合わせて収集することとし、次頁にモニタリングシートの案を示す。

図表 105 成果指標の設定と収集方法

観点	指標の例	備考
来訪者 (国内・海外)	入込客数(人)	観光施設等からのモニタリング
	宿泊客数(人)	宿泊事業者へのモニタリング調査(月1回)
	平均滞在時間(分)	観光客アンケート(1~3年に1回) / 携帯GPS調査
	立寄地点(箇所)	観光客アンケート(1~3年に1回) / 携帯GPS調査
	観光消費(円)	観光客アンケート(1~3年に1回)
	満足度(ポイント)	観光客アンケート(1~3年に1回)
	リピーター率(%)	観光客アンケート(1~3年に1回)
地域	市民の満足度(ポイント)	アンケート(1~3年に1回)、WEB形式も可
	市民の理解度(ポイント)	アンケート(1~3年に1回)、WEB形式も可
受入事業者	担い手の満足度(ポイント)	事業者アンケート(年1回)
	客室単価(円/室)	宿泊事業者へのモニタリング調査(月1回)
	宿泊稼働率(%)	宿泊事業者へのモニタリング調査(月1回)
	域内調達率(%)	事業者アンケート(年1回)
広報PR、 ブランド形成	ホームページ閲覧(PV)	管理者からの情報収集(年1回)
	SNSのフォロワー数(人)	管理者からの情報収集(年1回)
	認知度(ポイント)	WEBアンケート(1~3年に1回)
	イベント参加者(人)	携帯GPS調査、主催者調査(都度)

名護市宿泊統計調査(収集指標)

収集項目		値	単位	備考
①	施設名			
②	宿泊施設のタイプ	旅館、リゾートホテル、ビジネスホテル、シティホテル、簡易宿所、会社団体の宿泊所		
(平成 年 月実績)				
①	宿泊収入		円	
②	客室稼働率		%	(OCC)
③	客室単価		円	(ADR)
④	RevPAR		円/室	
⑤	延販売客室数		室/月	
⑥	公表客室数		室	※年次での把握も可
⑦	収容人数		人	
⑧	宿泊者の延人数		人	
⑨	うち外国人宿泊者数		人	※パスポートで国籍も把握可能
(予約状況)				
⑩	翌月の見通し	良い・前年度並み・悪い		
⑪	翌々月の見通し	良い・前年度並み・悪い		